

審 議 会 会 議 録

会議名称	平成25年度 第3回伊達市社会教育委員会議		
議 題	平成26年度社会教育関係事業計画等		
開催日時	平成26年2月21日（金曜日）13時30から15時15分まで		
場 所	伊達市役所第2庁舎2階第1会議室		
出席者	社会教育委員10名（欠席2名）、市教委7名		
	所管部課名	教育部生涯学習推進課	
公開 非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	

【会議概要】

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

■報告第1号

平成25年度胆振管内社会教育委員連絡協議会表彰式及び研修会参加報告

H25.11.19 登別市民会館にて開催、午前中は表彰式があり永年勤続表彰を9名受賞、うち伊達市からは小谷委員、遊佐委員、伊藤委員が受賞、代理で表彰状を受けてきた。
（報告者：議長）

研修については、2か所の施設見学を行った。（報告者：副議長）

①登別市郷土史資料館

日鋼の退職者などで構成された創立21年経つボランティアグループがあり21名の会員が活躍している。展示も整理されており小学校の学習などに活用されている。

② のぼりべつ文化交流館「カント・レラ」

学芸員2人で出前講座や体験講座など工夫して様々な取組みをしている。
考古学は発掘が話題になりやすいが、その活用も大事だと認識した。

■報告第2号

平成26年度社会教育関係事業計画について

（市教委各担当者より主だった事業についてそれぞれ説明）

《意見、質疑・応答》

【美術品購入事業について】

[A委員]

- ・予算が対前年で2倍強となっている理由は何か。

[市教委]

・市は渡邊刀匠作の刀をまったく所有していないため、今年度刀をあらたに購入することとした。また、現在アートビレッジ事業では大人25、26人、子ども15、6人いるが専門家によるとデッサンに使う石膏モチーフはできるだけ実物に近いものが望ましいとのことで、今回あらたに購入する。

絵画購入は24～26年の3か年計画なので、これらは次年度で終了する予定。

【高齢者教室事業（長生大学）について】

[B委員]

- ・定員というのがあるか。

[市教委]

・定員はない。現在学生は約290名だが、入学式や修了式を除くと、講義出席は約2/3、200名くらい。

場所は講堂なので今のとこと収容的に問題ない。

【市民講座開設事業について】

[C委員]

- ・市民講座のテーマはどのように決めるのか。

[市教委]

・過去の申込状況や、受講者のアンケートなどを参考に、できるだけ多くの市民に参加して欲しいと思うので最近のものなど情報収集や他担当者との情報交換などしながら決めている。

【カルチャーセンターの指定管理について】

[D委員]

- ・26年度から新規契約とのことだが、気づかなかったが公募していたか。

[市教委]

・広報誌、ホームページ、新聞等で公募周知を行い一定期間を経たのち、選考委員会を開催、公表、議会上程等の手順を行った。

【マイプラン・マイスタディ事業について】

[E委員]

- ・この制度の利用団体数どのくらいか。以前利用したことがあったが、講師補助の限度が25,000円は使い勝手が悪い(金額が低すぎる)と感じた。

[市教委]

・25年度はまだ利用した団体はない。金額を引き上げると利用が増えるのかどうか、判断が難しい面もあるように思う。

■議案第1号

伊達市社会教育委員に関する条例の一部改正について

[市教委]

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の制定により、社会教育法の一部が改正され、法律で定めていた社会教育委員の委嘱基準について、文部科学省令で定める基準を参酌し条例で定めることとなったことに伴う一部改正である。

現行の条例の委嘱の基準に「家庭教育の向上に資する活動を行う者」を加えた。

4. その他

■事務局からの報告事項

- ・前回の研修会の際に話題となった、「伊達市教育振興基本計画」（平成23年度～30年度）及び平成25年度教育委員会点検・評価報告書を配付した。

◆議長より

- ・関係予算については、すぐに我々委員の意見が反映される仕組みにはなっていないが、翌年、あるいは翌々年へつながる意見などは今から声に出していきましょう。

・いろいろな社会教育関係事業など、次年度も広報に掲載されると思うが、そのうちのひとつでもふたつでも各自が参加してみることも我々委員のつとめと思うので協力願いたい。

5. 閉 会